

こどもまんなか



社会をめざして



子どもは、社会の希望であり、未来をつくる存在です。

子どもの健やかな育ちと子育てを支えることは、

一人一人の子どもや保護者の幸せだけでなく、

多様化する社会において、

将来の担い手の育成へとつながります。

子どもとの大切な未来に向けて

皆さんで考えませんか。

問合 子ども・若者政策課 ☎ 754・7004

ID17439 「こどもまんなか社会」とは？

「こどもまんなか社会」とは、子どもや若者にとって最も良いことは何かを考え、子どもに関する取り組みや政策を社会の真ん中に据える考え方のことです。本市は、こども家庭庁が掲げる「こどもまんなか」の考えに賛同し、「こどもまんなか応援サポーター」として、子どもたちと子育て世帯を応援する取り組みをより一層推進することを宣言しています。

「こどもまんなか社会」を実現するためには、行政だけではなく地域社会や企業などさまざまな場で、年齢や性別を問わず、子どもや子育て中の方を応援する社会全体の意識改革が必要です。子どもや若者に対して何ができるかの答えに正解はありません。それぞれができるこどもまんなかに向けたアクションをお願いします。



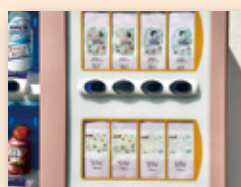
主なアクション

ID17439

こんなところにこどもまんなか！

ベビー用の紙おむつ自動販売機の設置

子ども連れの方が安心して五月山公園を利用できるよう、ベビー用の紙おむつを購入できる自動販売機を設置しています。



環境学習イベント

小学生の夏休みの自由研究支援を目的としたイベントのほか、市内の環境施策の実施状況や環境問題などについて学べるイベントを開催しています。



ID19598 「こどもまんなか社会」の実現に向けた取り組み - こども計画の策定 -

本市では「こども発 みんなでつくる いけだの未来」を基本理念とした「池田市こども計画」を昨年3月に策定しました。この計画は、これまで取り組んできた子育て支援施策を継続していきながらも、子どもを社会の中心に据え、意見をくみ取りながら取り組みを進めていく方針のもと、この計画に沿って施策を展開し、「こどもまんなか社会」の実現をめざしています。



児童の権利に関する条約（子どもの権利条約）

「児童の権利に関する条約（子どもの権利条約）」は、世界中の子どもが持つ権利について定めた条約です。この条約では、子どもが大人と同じように権利を持っていることを明らかにし、次の4つの大切な考え方が示されています。

差別の禁止	生存や発達への支援	意見の尊重	最善の利益の優先
人種や国籍、性別などに関係なく基本的人権が尊重され、どのような差別的な扱いも受けることがないこと。	命が大切に守られ、心身ともに健やかに成長し、発達するために必要な支援を受けること。	自分に関係する全てのことにに関して自由に意見を出すことができ、年齢や発達に応じてその意見が十分に考慮されること。	あらゆる活動において、子どもにとって最も良いことが優先して考えられること。



国においては、日本国憲法とこの条約の精神にのっとり、「こども基本法」を定めています。

POINT

こども基本法では、条約の「意見の尊重」の考え方にに基づき、国や地方自治体において、それぞれの政策の目的などを踏まえ、子どもや若者の最善の利益を第一に考えながら、子どもや若者の意見を聴き、反映させるための措置を講じることを規定しています。

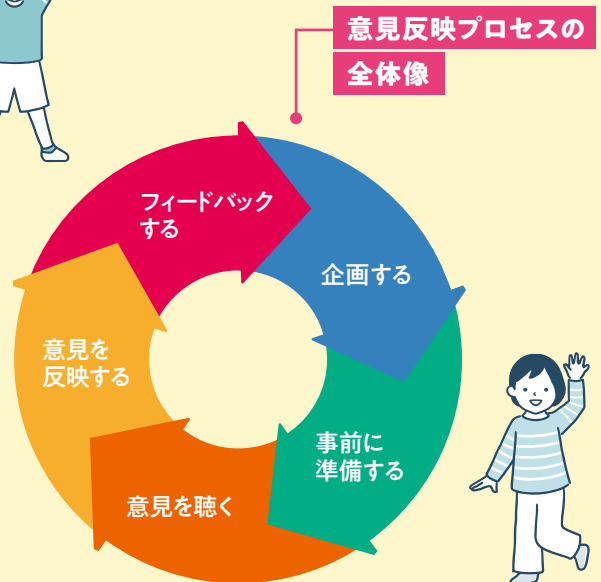
本市においても、これらを踏まえ子ども条例で**4つの大切な考え方**を規定しています。

子どもや若者の声を聴くこと

子どもや若者は、「こどもまんなか社会」を共につくるパートナーです。国や地方自治体が子どもや若者の声を聴く取り組みをしていくことには、大きな意義があります。

- ① 子どもや若者の状況やニーズをより的確に踏まえることができ、施策がより実効性のあるものになる。
- ② 子どもや若者にとって、自らの意見が十分に聴かれ、自らによって社会に何らかの影響を与える、変化をもたらす経験は、自己肯定感や自己有用感、社会の一員としての主体性を高めることにつながる。ひいては、民主主義の担い手の育成に資する。

意見を聴いた後は、聴いた意見を受け止め、どう反映するかを検討し、その後は、聴いた意見がどのように扱われたのかを説明する必要があります。



本市においても、意見を聴いただけの形式的な意見聴取とならないよう、子どもや若者の意見を反映する取り組みを進めていきます。

出典：こども家庭庁「こども・若者の意見の政策反映に向けたガイドライン」

次のページで小学生の皆さんから聴いた意見と市の考え方について紹介します。



取り組み

本市の小学校に通っている 皆さんの声を聴きました！

市長が市立小学校・義務教育学校（前期課程）全10校を訪問し、子どもにとって身近なテーマである「遊び場・自然」「公園」「地域イベント」「給食」について好きなところや嫌なところ、こうだったらいいなと思うことなどの意見を聴き、市政に反映していく取り組み「池田市の小学校に通っているみなさんの声を聴きたい!」を実施しました。また、この取り組みの感想や普段の生活のことについてアンケートを実施し、寄せられた全ての意見を関係部署に伝え、市政に反映できないかを検討し、児童の皆さんに結果をフィードバックしました。

寄せられた意見と児童の皆さんに伝えた市の考え方の一例について紹介します。

※対象は5年生または6年生で実施（クラス単位または学年単位）。

遊び場・自然



- ウォンバットがかわいい
- 遊園地やショッピングモールが欲しい
- 五月山などの自然が豊か
- 屋内の遊び場が欲しい
- 池田の歴史について知れる場所があったらいいな
- もっと自然を増やしてほしい
- 山からの景色がいい
- ポイ捨てされている など

遊園地やショッピングモールが欲しい

→ 本市では、人が集まり、にぎやかになるためのお店が増えることは、大切だと考えています。遊園地やショッピングモールは、お店の人が「このまちにお店を出したい」と思ったときにできることが多いので、お店を出したいと思ってもらえるように、頑張っていきます。今でも、楽しくてすてきなお店はいっぱいあるので、そのようなお店を見つけて楽しんでみてください。

もっと自然を増やしてほしい

→ 市内には、昔は畑や田んぼ、ため池がありましたが、最近は建物が増えたことで自然と触れ合えることが減ったと思います。しかし、自然は身近なところに存在していて、公園や学校の敷地にもたくさんの花や植物などがあります。また、市内には五月山や水月公園など自然豊かな場所がたくさんありますので、ぜひ足を運んで池田の自然を感じてみましょう。

公園



- 日陰が欲しい
- グラウンドが広いところが好き
- ボール遊びがしたい
- 遊具が少ない
- 遊具が壊れている
- 高学年と低学年で公園や遊具を分けてほしい
- アスレチック遊具が欲しい
- 自然に囲まれているところが好き など

日陰が欲しい

→ 暑い日でも雨の日でも公園を利用したいという気持ちを受け止めました。しかし、公園には全ての人が楽しく利用できるような公園を作るための基準などが定められている都市公園法があり、屋根が付いている建物は基本的に公園面積全体の2%までしか作れないと決められています。その中で、木や植物などの木陰も活用しながら、どのような形が使いやすくなるかを考えていきます。

遊具が少ない

→ 安全に楽しく遊べるように少しずつですが、壊れた遊具を直したり、新しい遊具を作る計画を立てたりしています。これから新しい遊具を作るときに、どのような遊具が欲しいか、皆さんの声を聴いていきます。皆さんも全ての人が気持ちよく公園を利用できるようにマナーを守って遊んでください。一緒に笑顔で安心して過ごせる公園を作っていきます。

地域イベント



- 花火大会の花火がきれい
- 猪名川花火大会を毎年開催しなくなったのが残念
- 祭りやイベントが少ない
- ふくまるくんの握手会やサイン会をしてほしい
- スポーツイベントがあったらいいな
- いろんな人が楽しめるところが好き
- イベントがいつ開催しているかわかりにくい
- 夏以外もお祭りをしてほしい

など

猪名川花火大会を毎年開催しなくなったのが残念

→ 猪名川花火大会を楽しみにしてくれてありがとうございます。皆さんに花火や屋台を楽しんでもらいたくて、たくさんの方が、長い時間をかけ準備しています。また、お金がたくさんかかることから2年に1回の開催となりました。猪名川花火大会を楽しんでもらえるように、これからも頑張りますので、応援してもらえると嬉しいです。

イベントがいつ開催しているかわかりにくい

→ 地域の方や団体が、年間通してさまざまなイベントを開催してくれていて、たくさんの方が楽しんでいます。最近では、暑さの関係もあり、秋にずらしてイベントを開催することも多くなっています。イベントは、市ホームページや広報誌、観光協会のホームページにある「イベントカレンダー」などで宣伝していますので、興味のあるイベントを見つけてください。

給食



- 揚げパンをもっと出してほしい
- 栄養バランスが整っている
- 防災シチュー（非常食）が冷たくておいしくない
- 世界各国の料理が食べてみたい
- お寿司や揚げ物が食べたい
- 牛乳以外の飲み物を出してほしい
- 給食がおいしい

など

揚げパンをもっと出してほしい

→ 揚げパンは、パンに砂糖をまぶすなど手作業で調理しています。学校給食センターでは、1日に8,500食の給食を作っており、限られた時間の中でたくさんの揚げパンを作ることは大変です。ただ、皆さんの人気メニューのため、少しでも回数を増やせるように頑張ります。

防災シチュー（非常食）が冷たくておいしくない

→ 地震などの自然災害が起こると、水や食料品が手に入りやすく、非常食を食べなければならない場合があります。普段の給食で非常食の味や食べ方を体験してもらうことで、実際に災害が起こったときに安心して食べることができると思います。日頃からもしものときのために備えておきましょう。

瀧澤市長からメッセージ



「池田市の小学校に通っているみなさんの声を聴きたい!」に参加してくれた皆さん、本当にたくさんの意見を伝えてくれてありがとうございました。

皆さんから寄せられた意見やアンケートの結果全てに目を通してみると、大人

では考えつかないような斬新なアイデアや意見がたくさんありました。

聴くだけではなく、聴いた意見を市政に反映できないかしっかりと考えながら、子どもの意見を聴く取り組みを進めていきます。